

裏表紙

| | |
|-----|--|
| 権利 | Copyrights 日本貿易振興機構（ジェトロ）アジア 経済研究所 / Institute of Developing Economies, Japan External Trade Organization (IDE-JETRO) http://www.ide.go.jp |
| 雑誌名 | ラテンアメリカレポート |
| 巻 | 19 |
| 号 | 2 |
| 発行年 | 2002-11-20 |
| 出版者 | 日本貿易振興会アジア経済研究所 |
| URL | http://hdl.handle.net/2344/00006142 |

ラテンアメリカ・レポート

目 次

VOL19.N02



ブエノスアイレス体験 ●久保 亨 1

特集 アルゼンチン危機 と ラテンアメリカ経済

アルゼンチン：
泡と消えたラプラタの奇跡と第三の道 ●宇佐見耕一 2

ブラジル：
アルゼンチン危機と転換期のブラジル
経済 ●浜口伸明 11

チ リ：
アルゼンチン危機の影響と新たな課題 ●北野浩一 24

メキシコ：
アルゼンチン危機より米国の景気 ●星野妙子 37

ベネズエラ4月の政変 ●坂口安紀 47
——チャベス政権と「民主主義」



構造改革で競争力強化を図る
エクアドル農業 ●清水達也 63

資料紹介 70

●編集後記

- 本号はアルゼンチン経済危機の特集です。アルゼンチン政府がデフォルトを宣言する数カ月前、新聞で新興市場のサムライ債(円建て国債)の記事を読みました。それによれば、地方自治体、学校法人、老後資金を運用する個人が、ブラジルとアルゼンチンのサムライ債を大量に保有しているとのこと。すでにアルゼンチン経済の雲行きが怪しくなっていた時ただけに、先行きへの懸念とともに、日本のラテンアメリカに対する“感覚の鈍さ”を改めて感じたものでした。その責任の一端はラテンアメリカ情報の発信を担うわれわれにもあるかもしれません。今後の課題としたいと思います。アルゼンチン国債をめぐる地方自治体の受難は、その後マスコミでさかんに報じられたとおりです。今後ブラジルで同じ事態が繰り返されないことを祈るばかりです。
- アルゼンチン関連の論考が並ぶ本号は巻頭フォーラムもアルゼンチンがテーマです。執筆者の久保亨信州大教授は中国経済史がご専門。初めてのラテンアメリカ体験、それも経済危機さ中のブエノスアイレス体験を書いていただきました。中国研究者の目に映るブエノスアイレスは、ラテンアメリカ研究者のそれとはひと味違っていたようです。ちなみに筆者はこの夏、中国・北京を訪れる機会を持ちました。ものの値段から人々の対応、街のたたずまいまで、すべてをメキシコ基準で眺める自分が自覚され、興味深い北京体験でした。地域の相対化と複合的な視点、この二つを容易に実体験できるといいう点で、恵まれた時代にわれわれは生きているといえましょう。(星野妙子)

編集委員会：星野妙子，米村明夫，宇佐見耕一，
山岡加奈子，坂口安紀，北野浩一，
近田亮平，佐々木茂子，村井友子

▶インフォメーション

▶最近のアジア経済研究所の出版物

- 星野妙子編『発展途上国の企業とグローバリゼーション』(研究双書522) v+339ページ，2002年。
- 星野妙子・北野浩一編『企業研究情報マニュアル——ラテンアメリカ4カ国，アジア5カ国・地域』v+153ページ，2002年。
- 宇佐見耕一編『新興工業国の社会保障制度・資料編——アジアとラテンアメリカの比較研究』(調査研究報告書 地域研究第2部 2001-II-04) vii+265ページ，2002年。
- 村上薫編『後発工業国における女性労働と社会政策』(研究双書523) iv+217ページ，2002年。(アルゼンチンとメキシコに関する論文を含みます)
- 宇佐見耕一編『ラテンアメリカ福祉国家論序説』(研究双書515) v+299ページ，2001年。
- 佐藤幸人編『新興民主主義国の経済・社会政策』(研究双書516) vi+372ページ，2001年。(アルゼンチンに関する論文を含みます)

(出版物のお問い合わせは研究支援部成果普及課へ
TEL043-299-9735 FAX043-299-9736)

ラテンアメリカ・レポート Vol.19 No.2

2002年11月20日発行©
定価840円(本体800円)

- 編集・発行 日本貿易振興会 アジア経済研究所
- 編集 地域研究第2部
- 発行 研究支援部
〒261-8545 千葉県美浜区若葉3-2-2
TEL 043-299-9735 FAX 043-299-9736
E-mail: syuppan@ide.go.jp

印刷 東京コロニー

●編集後記

- 本号はアルゼンチン経済危機の特集です。アルゼンチン政府がデフォルトを宣言する数カ月前、新聞で新興市場のサムライ債(円建て国債)の記事を読みました。それによれば、地方自治体、学校法人、老後資金を運用する個人が、ブラジルとアルゼンチンのサムライ債を大量に保有しているとのこと。すでにアルゼンチン経済の雲行きが怪しくなっていた時ただけに、先行きへの懸念とともに、日本のラテンアメリカに対する“感覚の鈍さ”を改めて感じたものでした。その責任の一端はラテンアメリカ情報の発信を担うわれわれにもあるかもしれません。今後の課題としたいと思います。アルゼンチン国債をめぐる地方自治体の受難は、その後マスコミでさかんに報じられたとおりです。今後ブラジルで同じ事態が繰り返されないことを祈るばかりです。
- アルゼンチン関連の論考が並ぶ本号は巻頭フォーラムもアルゼンチンがテーマです。執筆者の久保亨信州大教授は中国経済史がご専門。初めてのラテンアメリカ体験、それも経済危機さ中のブエノスアイレス体験を書いていただきました。中国研究者の目に映るブエノスアイレスは、ラテンアメリカ研究者のそれとはひと味違っていたようです。ちなみに筆者はこの夏、中国・北京を訪れる機会を持ちました。ものの値段から人々の対応、街のたたずまいまで、すべてをメキシコ基準で眺める自分が自覚され、興味深い北京体験でした。地域の相対化と複合的な視点、この二つを容易に実体験できるといいう点で、恵まれた時代にわれわれは生きているといえましょう。(星野妙子)

編集委員会：星野妙子，米村明夫，宇佐見耕一，
山岡加奈子，坂口安紀，北野浩一，
近田亮平，佐々木茂子，村井友子

▶インフォメーション

▶最近のアジア経済研究所の出版物

- 星野妙子編『発展途上国の企業とグローバリゼーション』(研究双書522) v+339ページ，2002年。
- 星野妙子・北野浩一編『企業研究情報マニュアル——ラテンアメリカ4カ国，アジア5カ国・地域』v+153ページ，2002年。
- 宇佐見耕一編「新興工業国の社会保障制度・資料編——アジアとラテンアメリカの比較研究」(調査研究報告書 地域研究第2部 2001-II-04) vii+265ページ，2002年。
- 村上薫編『後発工業国における女性労働と社会政策』(研究双書523) iv+217ページ，2002年。(アルゼンチンとメキシコに関する論文を含みます)
- 宇佐見耕一編『ラテンアメリカ福祉国家論序説』(研究双書515) v+299ページ，2001年。
- 佐藤幸人編『新興民主主義国の経済・社会政策』(研究双書516) vi+372ページ，2001年。(アルゼンチンに関する論文を含みます)

(出版物のお問い合わせは研究支援部成果普及課へ
TEL043-299-9735 FAX043-299-9736)

ラテンアメリカ・レポート Vol.19 No.2

2002年11月20日発行©
定価840円(本体800円)

- 編集・発行 日本貿易振興会 アジア経済研究所
- 編集 地域研究第2部
- 発行 研究支援部
〒261-8545 千葉県美浜区若葉3-2-2
TEL 043-299-9735 FAX 043-299-9736
E-mail: syuppan@ide.go.jp

印刷 東京コロニー